

石川県七尾美術館だより

平成20年4月1日発行
編集・発行 石川県七尾美術館

第53号(春号)



ISHIKAWA
NANAO
ART MUSEUM



長男久蔵・生誕440年記念

「長谷川等伯展～久蔵の国宝【桜図】特別公開～」より

国宝「桜図」(壁貼付4面内部分)

長谷川久蔵 1568～1593

桃山時代 16世紀

各縦175.6×横139.5 (cm)

京都市・智積院蔵

展覧会紹介

平成20年4月5日(土)

6月29日(日)

休館日については裏表紙をご覧ください

長男久蔵・生誕四四〇年記念

「長谷川等伯展」

「久蔵の国宝【桜図】特別公開」

4月5日(土)～5月6日(火・振休)

【会期中無休】

◆第一・第二展示室

長谷川等伯(一五三九～一六一〇)は能登国七尾出身で、桃山時代に京都で活躍した画家です。

出身地にある当館では調査・研究はもとより、平成八年度より毎年「長谷川等伯シリーズ展」を開催し、平成十一年の開館五周年・七尾港開港百周年・七尾市制施行六十周年には国宝「楓図」(京都市・智積院蔵)を、平成十七年の開館十周年・当シリーズ十回記念には、国宝「松林図屏風」(東京国立博物館蔵)を展覧することができました。また、平成十三年からは広く「長谷川派」と呼ばれる弟子たちの作品も紹介してきました。

さて、等伯の息子たちも長谷川派の画家として等伯に学び、制作しています。その弟子たちの中でも一際光る存在が、長男の久蔵です(※本来久蔵は次男の可能性が高いが、兄が幼少時に亡くなったのか、一般的には久蔵が長男とされている)。久蔵は永禄十一年(一五六八)能登国七尾に生まれ、幼少の頃等伯と共に上洛し、「清雅 父(等伯)にまさる」と高く評価された人物です。しかし、等伯の後継者として将来を嘱望されながらも、秀吉の長男・棄丸(鶴松)の菩提寺である祥雲禅寺室内の障壁画群を、長谷川一派の総力を結集して制作にあたったその完成間近、文禄二年(一五九三)に二十六歳という若さでこの世を去ります。それゆえ、確実とされる現存作品は三点のみです。

その中で代表中の代表とされ、昭和四十五年(一九七〇)に開催された大阪万国博覧会の記念切手に採用されたのが、国宝「桜図」(京都市・智積院蔵)です(表紙掲載、出品四面内三面)。

久蔵は、この「桜図」を描いてすぐ後に亡くなったため、桜の花の儚さと重ね合わせて見る人も多いといえます。この春、七尾美術館には久蔵と等伯、それに宗宅、宗也、左近といった息子たちの作品等十一点が集います。点数は多くありませんが、七点が七尾初公開となります。

美術館すぐ横の小丸山公園は、四月中旬頃桜満開となります。会期も桜の時期にあわせ、約一ヶ月早めました。是非この時期に室内外の「桜」をお楽しみください。

◆「桜図」長谷川久蔵 壁貼付四面

桃山時代 京都市・智積院蔵

「桜図」は、豊臣秀吉が長男・鶴松の菩提を弔うために建てた祥雲禅寺の障壁画の一部です。祥雲禅寺は「京都第一の寺」といわれたほど、秀吉が財を投じた大寺院でした。後に智積院所蔵となり、二回の火災と盗難に見舞われますが、中心となる等伯筆の「楓図」や久蔵筆の「桜図」など四十四面が難を逃れ、現在国宝に指定されています。

この久蔵筆とされる「桜図」には、盛り上げ胡粉(蠣貝の殻を焼いて粉にしたものを使用)という非常に工芸的な技法が駆使されています。暗い室内で見ると、その部分が浮き上がって見え、まるで夜桜を見ているようです。背景の金箔地と胡粉を盛り上げた桜花は、絶妙なハーモニーを奏で、観るものを惹きつけます。

ちなみに、等伯は二十八歳の時に、仏画においてすでにこの技法を試んでいます。そして亡くなった久蔵への思いも込め、名作「松林図屏風」を描いたといわれます。

才能を桜花のごとく開花させた久蔵…本物の桜は散りゆく運命ですが、「桜図」の桜は今もなお咲き誇り、これからも人々を魅了し続けるでしょう。

◆「武者図屏風」長谷川派 六曲一双

江戸時代 京都市・個人蔵

本邦初公開となる作品です。等伯筆の重文「弁慶・昌俊図絵馬」(京都市・北野天満宮蔵)や久蔵筆の重文「朝比奈草摺引図絵馬」(京都市・清水寺蔵)など、著名な絵馬を模写した部分が描かれており、研究者たちにも注目されています。

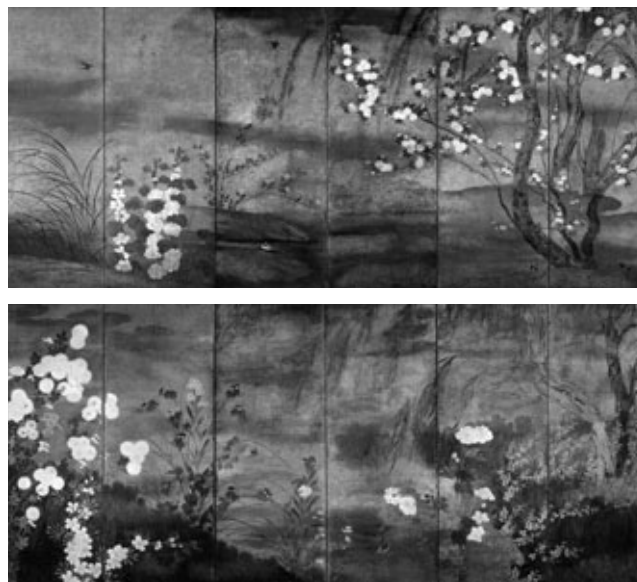
輪郭を独特の野太い墨線で描く描法から、長谷川派でも絵馬をよくした画家の可能性が考えられます。



◆「四季花鳥図屏風」長谷川等伯 六曲一双

桃山時代 東京都・個人蔵

平成十七年に出光美術館の「新発見 長谷川等伯の美」展で初展示された屏風です。無落款ながら、描かれた樹木や様々な草花の表現は、久蔵の「桜図」や等伯の「楓図」(何れも智積院蔵)と近似し、存在感のある作品です。



◆「大黒布袋角力図絵馬」長谷川宗也 一面

明暦三年（一六五七） 京都市・八坂神社蔵

等伯三男の宗也（新之丞）は等伯庶子とする記録もあり、宗也系の画系は京都において絵屋的な部分を引き継ぎ、後に仏画を中心に描いたと考えられています。

本図は、大黒と布袋が廻し姿で相撲をとる様子がとてもユーモラスな作品です。画面左端に「明暦三酉丁歳仲春下浣 長谷川新之丞筆」とあり、没する十年前の六十八歳筆とわかります。



★出品作品（●＝国宝、□＝県文）

- 一 「武者図屏風」 長谷川派 六曲一双
紙本墨画淡彩 江戸時代 京都市・個人
- 二 「松・杉・楓図屏風」 長谷川等誓 六曲一双
紙本金地著色 桃山時代 羽咋市・妙成寺
- 三 「三十六歌仙扇額」 長谷川左近 六面（展示替有）
板地著色 江戸時代 個人
- 四 「大黒布袋角力図絵馬」 長谷川宗也 一面
板地著色 江戸時代 京都市・八坂神社
- 五 「柳橋水車図屏風」 長谷川宗宅 六曲一隻
紙本金地著色 桃山時代 群馬県立近代美術館
- 六 「大原御幸図屏風」 長谷川久蔵 六曲一隻
紙本金地著色 桃山時代 東京国立博物館
- 七 ● 「桜 図」 長谷川久蔵 壁貼付四面
紙本金地著色 桃山時代 京都市・智積院
- 八 □ 「善女龍王 図」 長谷川信春等伯 一幅
絹本着色 室町末期 石川県七尾美術館
- 九 □ 「愛宕権現 図」 長谷川信春等伯 一幅
絹本着色 室町末々 桃山初期 石川県七尾美術館
- 十 □ 「陳希夷睡 図」 長谷川信春等伯 一幅
紙本墨画 桃山時代 石川県七尾美術館
- 十一 「四季花鳥図屏風」 長谷川等伯 六曲一双
紙本着色 桃山時代 東京都・個人

◆記念講演会

日時 四月十三日（日） 午後二時～三時三十分
講師 水尾 比呂志氏

演題 「智積院の障壁画―特に久蔵の桜図について―」（聴講の方には、等伯関連ハガキを一枚プレゼントします）

★会期中、毎年恒例の小中学生対象「等伯なんでもクイズ」を開催、全問正解者の中から抽選で、等伯関連グッズをプレゼントします！

〈共通観覧料〉

	一般	個人	団体
大高生	3500円	3000円	
	700円	600円	

※中学生以下無料、団体は二十名以上です。
※同時開催の「桜図」特別公開記念「桜と梅を楽しむ」と共通料金です。

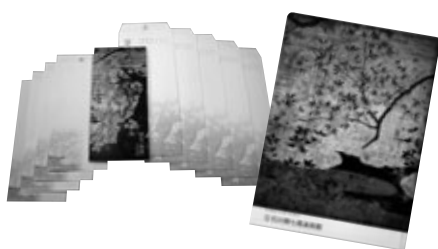
新発売

ミュージアムグッズのお知らせ

ミュージアムグッズコーナー（受付カウンター）では「長谷川等伯展」久蔵の国宝「桜図」特別公開「開催を記念し、関連グッズを販売します。本展図録、「桜図」の絵葉書はもちろんのこと、「桜図」クリアファイル、一筆箋&封筒セット、額絵などが新発売になります。

ほかにはない当館オリジナル商品なので、お土産にもぴったり！

さらに、会期中限定で素敵な「桜」グッズ（和ろうそく、匂い袋など）も販売します。数量限定のものもありますのでお早めどうぞ♪



クリアファイル&一筆箋



香りグッズ

同時開催

「桜図」特別公開記念「桜と梅を楽しむ」

◆第三展示室

国宝「桜図」特別公開を記念して、石川県立美術館所蔵作品を中心に、当館所蔵と個人所蔵作品を加え、桜や梅が描かれた作品二十五点を紹介します。

万葉の時代から日本人が好み、詠い、描かれてきた「桜」と「梅」。それ自体が華やかで魅力的であり、作品のモチーフとして選ばれることも少なくありません。一方、中心モチーフの背景に描くことによって、作品全体を華やいだ雰囲気にしたたり、春を感じさせたりもするのです。

そんな桜と梅が描かれた日本画・洋画・浮世絵・陶磁器・漆工などをお楽しみください。



「雪月花之内 梅園之月」橋本周延



「流水桜文蒔絵神代櫓罎」
松田権六



県文「青手桜花散文平鉢 古九谷」

※右画像作品は全て石川県立美術館蔵です。
※「長谷川等伯展」と共通料金です。

「春の名品展」

5月10日(土)～6月1日(日)

◆第一展示室

現在当館には約五五〇点の作品が収蔵されていますが、本展ではその中核「池田コレクション」などより、様々な茶道美術品を紹介します。

「茶の湯」は桃山時代に千利休がその形を整えて以来、四〇〇年以上の歴史を持ち、現在でも多くの人々に親しまれている日本の代表的な伝統文化の一つです。

利休以後、「茶の湯」の長い歴史の中で多くの流派が誕生し、そして更に各流派の宗匠をはじめとした茶人たちの好みや、時代の影響などにより膨大な種類の茶道具が制作されて各々に受け継がれ、今に伝えられています。

その道具の一点一点には、作品本体のみならず銘や収納箱なども含めて、制作者や代々の所有者の独特の創意工夫が込められており、それを思い巡らせながら作品を鑑賞するのも一興でしょう。色々な思いが凝縮された茶道具の奥深さにふれていただければ幸いです。



「竹茶杓 銘鶴」吸江斎宗左



「甕口撫肩釜」江戸時代

同時開催

「ポスターでたどる モントレイ・ジャズ・フェスティバルポスター展」

◆第二展示室

七尾市の姉妹

都市アメリカ・

カリフォルニア

州のモントレイ

市は世界三大ジ

ャズフェスティ

バルの一つであ

る「モントレイ

・ジャズ・フェ

スティバル」

(MJF)の開

催地として有名

です。

そのモントレイ市から、平成八年に七尾市・和倉温泉観光協会・和倉温泉旅館協同組合に対しご寄贈いただいたMJFポスター五十枚を紹介いたします。

このポスターは、アメリカの作家EARL NEWMAN氏が一九六三年から九五年までの間に、著名なジャズ・プレイヤーの演奏する姿やトランペットなどをモチーフに、リトグラフの技法で制作されたものです。

今にもジャズのメロディーが聞こえてきそうな、躍動感溢れるポスターを通して、本場MJFの歴史をお楽しみください。

〈共通観覧料〉

	一般	個人	団体
大高生	2800円	3500円	2800円
一般	2800円	2800円	2200円

※中学生以下無料・団体は二十名以上です。
※同時開催の「春の名品展」と共通料金です。



1972年「Monterey
Chair, Horn」



1965年「Trumpet」

「第64回現代美術展 七尾展」

6月6日(金)～29日(日)

◆第一・第二・第三展示室

毎年四月に開催される「現代美術展」は、日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の六部門で行われる、県下最大規模を誇る公募展です。県内在住の文化功労者や日本芸術院会員、人間国宝を筆頭とする出品委嘱作家の作品に加えて、入選率五〇パーセントという厳しい審査を経て選ばれた入選作品を展示するもので、その総点数は千点にもおよびます。

第1回展は、戦後間もない昭和二十年十月に「美術文化の向上による新日本建設への寄与」をスローガンとし開催されました。以後、毎年継続され今回で六十四回目となります。

七尾展は昭和二十一年六月の第2回展が開催された後は、平成七年四月の当美術館開館を機に、毎年「現代美術展」の地方展という形で開催され、今年で十四回目を迎えます。

今年も「第64回現代美術展」出品作品の中から、財団法人石川県美術文化協会役員の作品、能登地区在住および出身委

嘱作家作品、委嘱賞・最高賞・次賞受賞作品、能登地区(宝達志水町以北)在住者の作品を選抜し、約二百点を展示予定です。

所属会派を超えて出品される作品を一堂に鑑賞することができ、現在の石川県



昨年の展覧会の様子

における美術の流れを展観する絶好の機会といえる展覧会です。

主催(予定)

七尾市、財団法人七尾美術館、財団法人石川県美術文化協会、北國新聞社、テレビ金沢、北陸放送、財団法人芸術文化協会、ラジオななほ、後援(予定)、能登地区各教育委員会

◆観覧料

	一般	個人	団体
大高生	500円	400円	300円
	350円		

※中学生以下無料・団体は二十名以上です。

◆定期ビデオ上映会年間予定◆

毎回午前11時～(上映時間約30分)

一年を通して、「シリーズ 北陸の工芸作家 石川の匠たち」のビデオを上映します。

石川県内の人間国宝と文化勲章受章者にスポットをあて、作者本人へのインタビューを交え、その人と技・作品を紹介します。

「シリーズ 北陸の工芸作家 石川の匠たち」

- 4/12(土) 極光 人間国宝 寺井 直次
 - 5/17(土) 響 人間国宝 魚住 為樂
 - 6/14(土) 和光 人間国宝 大場 松魚
 - 7/12(土) 即是色 人間国宝 三代 徳田八十吉
 - 8/9(土) 木魂 人間国宝 川北 良造
 - 9/27(土) 漆が呼ぶ里 人間国宝 塩多慶四郎
 - 12/20(土) 袖下燦々 人間国宝 吉田 美統
 - 2/28(土) 炎と土と色 文化勲章受章者 浅蔵五十吉
- ※都合により、上映作品を変更することがございますが、ご了承ください。

アートホール催し物案内

第29回 等伯会定期総会&等伯まつり

4月4日(金)

定期総会

開会 午後1時00分

前年度の報告と今年度の事業計画・予算などについて協議します。

等伯顕彰セレモニー 開式 午後1時30分

箏・尺八の演奏・献茶・献歌献句・コーラス等。

入場料 無料

主催・連絡先

等伯会(石川県七尾美術館内)
☎0767(53) 1500

ファミリーコンサート

4月6日(日) 開演 午後1時00分

ピアノ・大正琴・三味線による合同コンサートです。幅広い年代で、それぞれの持ち味を生かして演奏をしたいと思えます。ご来場をお待ちしております。

入場料 無料

主催 ひびき会・琴絵会・洋三会

連絡先 川崎幸子 ☎0767(52) 4657

和泉流宗家による能登狂言の会

～三宅藤九郎お国帰り～

6月22日(日) 開演 午後3時00分

加賀能登ゆかりの狂言師・三宅藤九郎。二十世宗家・和泉元彌はじめ和泉流宗家ファミリーによる公演。五才のちびっ子狂言師による「伊呂波」ほか楽しい演目とトーク。温習会との二部構成で狂言が身近に!

入場料 4,000円

主催 和泉流宗家・十世三宅藤九郎

連絡先 ☎090・3432・2651

喫茶室から 特別メニューのお知らせ

喫茶室では「長谷川等伯展〜久蔵の国宝【桜図】特別公開」開催を記念し、特別メニューをご用意しました。

数量限定お抹茶セット

4月5日〜28日の土日限定

①桜セット 六〇〇円

お抹茶に「桜餅」が付きます。

ゴールデンウィーク期間限定
(4月29日〜5月6日)

②長まーセット 六〇〇円

お抹茶のお菓子にでか山
(青柏茶 名物「長まし」が
付きます。

ご予約限定

桜弁当セット 一、一五〇円

様々な食材が楽しいお弁当に
お吸物が付きます。
お持ち帰りもできますので、
美術館前庭でお花見など
いかがですか？

※来館2日前までに
お申込みください。
(5ヶ以上のご注文で
お願ひします)

予告 大好評！

ゴールデンウィーク期間中、数量限定で「花嫁のれん
弁当」と「でか山弁当」を販売予定。お楽しみに♪



平成20年度 友の会事業カレンダー

2008年4月

●美術館だより(53号)春号発行

○4月4日(金)「長谷川等伯展 〜久蔵の国宝【桜図】特別公開〜」
開会式へ友の会会員をご招待！

式典終了後には展示会の鑑賞(無料)もできます。

◆会期初めに友の会会員対象の列品解説を開催。(※)

●美術館だより(54号)夏号発行

7月

8月

9月

10月

◆「オランダの版画とモダンデザイン展」にて友の会会員対象の列品解説を開催。(※)

◆「能登畠山氏と能登の美術」展にて友の会会員対象の列品解説を開催。(※)

●美術館だより(55号)秋号発行

◎「第9回友の会鑑賞の旅」10月5日(日)に開催予定。

石川県立美術館リニューアルオープン記念展「法隆寺の名宝と聖徳太子の文化財展」へ。

嶋崎丞館長による特別解説で鑑賞します。

11月

○11月9日(金)「2008イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」開会式へ友の会会員をご招待！
式典終了後には展示会の鑑賞(無料)もできます。

2009年1月

●美術館だより(56号)冬号発行。

注：(※)印の催しは会員本人と同伴者2名まで参加できます。



相互割引館の展覧会情報

平成20年4月1日から当館友の会会員証の提示で入館料が割引となる施設が増えました。

〈金沢市〉金沢市立中村記念美術館

〈七尾市〉能登国分寺展示館、明治の館(室木家)

七尾城史資料館・懐古館、蝦夷穴歴史センター

中島お祭り資料館・お祭り伝承館

※休館日等は各施設にお問合せください。

石川県立美術館

☎076(231)7580

※館内改修につき休館中のため、石川県立歴史博物館を会場に企画展・コレクション展を開催します。

石川県立歴史博物館

☎076(262)3236

特別展 「弥生ムラの風景」

会期 ◆4/26(土)〜6/1(日)

観覧料 ◆一般650円→520円

企画展

「リニューアルオープン」企画 石川県立美術館館選
会期 ◆6/14(土)〜7/6(日)

観覧料 ◆一般250円→200円

コレクション展

「右記観覧料で常設展も観覧できます」
「九谷の流れⅠ〜古九谷・再興九谷」

会期 ◆4/19(土)〜5/18(日)

コレクション展 「九谷の流れⅡ〜古九谷から現代の名工」

会期 ◆6/14(土)〜7/13(日)

※コレクション展は歴史博物館の観覧料でご覧いただけます。
金沢市立中村記念美術館 ☎076(221)0751

春季展 「金沢21世紀美術館」安宅コレクション展「鑑賞陶磁器」

会期 ◆開催中〜5/28(水)

観覧料 ◆一般300円→250円

石川県立能登島ガラス美術館 ☎0767(84)1175
特別展 「藤田高平 雅の夢とヴェニス」

会期 ◆開催中〜5/11(日)

観覧料 ◆一般800円→700円

石川県立漆芸美術館 ☎0768(22)9788

テーマ展 「生新の時・若者たちの漆芸作品展」

会期 ◆4/25(金)〜6/15(日)

観覧料 ◆一般600円→550円

珠洲市立珠洲焼資料館 ☎0768(82)6200
常設展 観覧料 ◆一般310円→210円

ボランティアさん 大募集!!

当館では、展示室の監視業務をボランティアの皆さんのご協力のもとに行っています。美術館とお客様をつなぐ監視ボランティアに参加してみませんか？監視ボランティアさんは随時募集しています。活動は半日単位からです。土日祝日に活動できる方、大歓迎!! お気軽に美術館までご連絡ください。

平成十九年度 新収蔵品紹介

平成十九年度に新しく当美術館
所蔵となった作品を紹介します。

①日本画

「不動明王八大童子像」 長谷川等鶴

江戸時代後期（18～19世紀）制作

※ロンドンギャラリー株式会社より寄附



①

②洋画

「葬曲」

昭和五十二年（一九七七）制作

第13回毎日現代日本美術展出品

中村静勇

③洋画

「幻影の譜」

昭和五十八年（一九八三）制作

第53回第一美術展出品

中村静勇

④洋画

「春愁の譜」

昭和六十年（一九八五）制作

第56回第一美術展出品

中村静勇

⑤洋画

「Melancholy」(二)

昭和六十三年（一九八八）制作

第59回第一美術展出品

中村静勇

⑥洋画

「麗色」

平成六年（一九九四）制作

第65回第一美術展出品

中村静勇



⑤

⑦洋画

「My Birthday」

平成十五年（二〇〇三）制作

第74回第一美術展出品

中村静勇

⑧洋画

「木槿一輪（一）」

平成十八年（二〇〇六）制作

第77回第一美術展出品

中村静勇

⑨書

「顕浄土真実文類三

教行心証信ノ巻部分」 三藤観映

平成十七年（二〇〇五）制作

第37回日展出品

※三藤観映氏より寄附



⑨

⑩写真

「冬の道」

平成十八年（二〇〇六）制作

第10回総合写真展

最高賞内閣総理大臣賞受賞

※斉田正一氏より寄附

斉田正一

⑪写真

「ミヤマの楽園」

平成十五年（二〇〇三）制作

第59回現代美術展出品

※松本常義氏より寄附

松本常義



⑪



⑩



これからの展覧会予定



◆第1・2展示室

「池田コレクション名品展」

7月4日(金)～27日(日)

七尾市出身で市名誉市民の実業家・池田文夫氏(1907～87)が蒐集した美術品は「池田コレクション」として、当館開館以後所蔵品の中心となっています。本展では「池田コレクション」より様々な作品を幅広く紹介予定です。



「金魚図」 大橋翠石

◆第1・2展示室

日蘭修好通商条約150周年

「オランダの版画とモダンデザイン展」

～レンブラントからリートフェルト、エッシャー、ブルーナまで～

8月2日(土)～9月15日(月・祝) 会期中無休

本展では日蘭修好通商条約150周年、日本オランダ年を記念して、オランダ絵画の黄金期をレンブラントなど17世紀の巨匠たちが制作した版画作品によってたどり、モンドリアン、リートフェルト、エッシャー、ブルーナたちの作品によって、版画をはじめ、グラフィック、インテリア、建築など各分野の20世紀初頭から現代までのオランダの美術を紹介します。また自由参加のワークショップコーナーもあります。



「レッド&ブルーチェアー」
ヘリット・トーマス・リートフェルト

◆第1・2展示室

能登畠山家創立600年記念事業 「能登畠山氏と能登の美術」

9月20日(土)～10月26日(日)

能登畠山氏は室町時代中期より戦国時代末期にかけて能登国を統治した大名です。同氏は第7代当主義総の頃に全盛期をむかえ、領内では文芸活動などが盛んに行われて「畠山文化」が開花、桃山時代に活躍した画家・長谷川等伯を生み出す土壌ともなりました。

今年は能登畠山家が創立されてちょうど600年にあたり、本展ではその記念事業の一環として、地元に伝わるゆかりの品々や当館所蔵品・寄託品などを中心に、「能登畠山氏の歴史・文化」、「能登の美術」の2テーマで能登畠山氏に関する作品・史料や、長谷川等伯などをはじめとした能登ゆかりの作家・作品などを紹介予定です。



割引、プレゼントなど特典いろいろ！
ぜひ当館でもご利用ください。



飛行機……能登空港から能登有料道路利用約45分
車……金沢から能登有料道路利用約1時間15分
タクシー……JR七尾駅から約5分
徒歩……JR七尾駅より約20分
市内循環バス……JR七尾駅前5番乗り場から西回りに乗車約6分(まりん号)

休館日のお知らせ

(4月～6月)

- ◆4月 1～4
- ◆5月 7～9, 12, 19, 26
- ◆6月 2～5, 9, 16, 23, 30

◎次号・第54号(夏号)は7月1日発行予定です。

〒926-0855 石川県七尾市小丸山台1丁目1番地
TEL(0767)53-1500/FAX(0767)53-6262
<http://www.city.nanao.lg.jp/nanabi/>

石川県七尾美術館だより

第53号(春号)